

2024年8月28日
6633 TSE Standard

2024年12月期
第2四半期（中間期）
決算説明動画配信

株式会社C & Gシステムズ

目次
Index

01	会社概要	…3
02	2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算概要	…12
03	中長期事業方針	…19
04	2024年12月期 通期業績見通し	…25
05	株主還元について	…29

01

会社概要

会社概要

会社概要

商号	株式会社C & Gシステムズ (6633)
主力事業	金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート
所在地	(東京本社) 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社) 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 (2023年度)	売上高 : 38億26百万円 営業利益 : 90百万円
事業所	国内7拠点 (東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本/仙台) 海外2拠点 (インドネシア、ベトナム) 海外事業子会社3社 (タイ/カナダ/米国 [金型製造]) 海外総代理店3社 (韓国/中国/台湾)
連結社員数	253名 (2024年6月末現在)

国内外ネットワーク

東アジア (各国代理店)

韓国 : IGPNET社
中国 : Shanghai C.J
System
Technology社
台湾 : Createwell社

アセアン

タイ : CGS ASIA (子会社)
インドネシアテクニカルセンター
ベトナムテクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシア
テクニカルセンター



ベトナム
テクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
大宮支店
東北オフィス
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部



東京本社



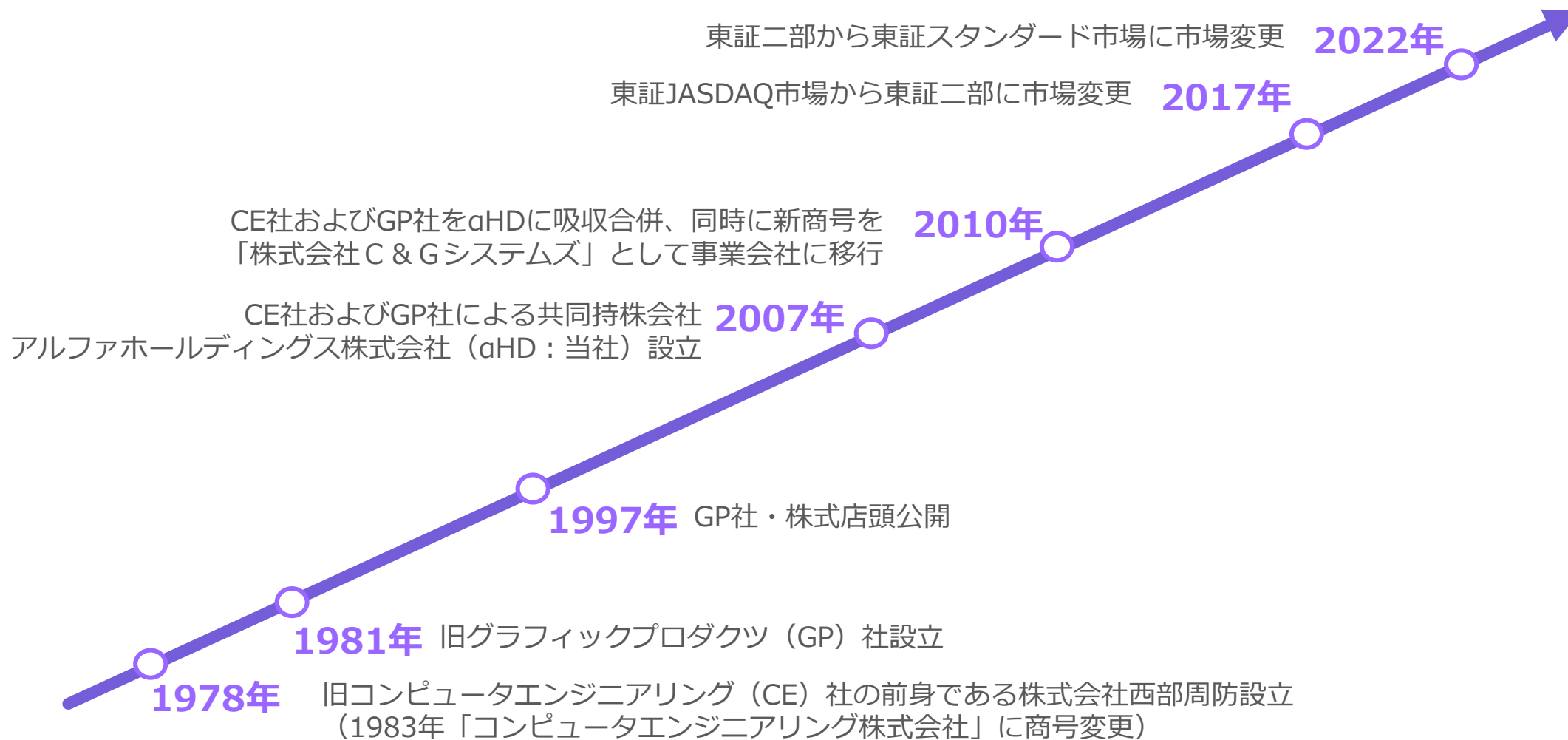
北九州本社

カナダ

CGS CANADA (子会社)

米国 (金型製造事業)

Tritech International, LLC



Mission Statement 社是

生産性の限界に挑戦する

Management Philosophy 経営理念

技術立国日本を代表するCAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。

Growth Strategy Theme 成長戦略テーマ

Global Niche Top

～「金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す～

主要製品および導入実績

製品ポジショニングマップ



累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

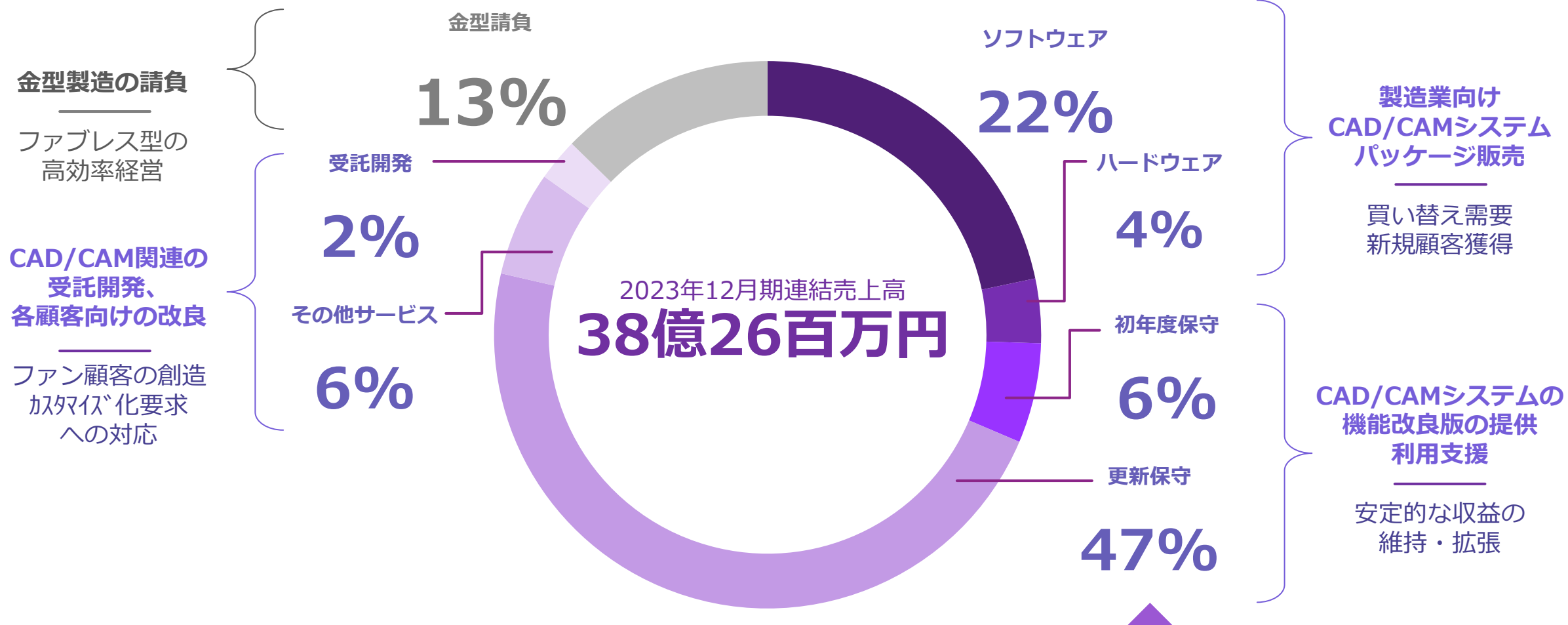
国内
6,000
事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 TMW デンソー ヤマハ発動機 三光合成 三菱重工 マツダ
 深江工作所 三井ハイテック タカギ エスバンス パナソニック オムロン シマノ がまかつ
 CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気
 本田技研工業 アルプスアルパイン ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外
1,000
事業所

LG電子 サムソン電子
 現代自動車 DOOSAN機械
 FOXCONN teleflex
 Medical
 友達光電 AMTEK

主力事業：金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート



CAD/CAMシステム等事業の約5割を更新保守で構成

地域別（仕向地別）売上高

連結売上高 38億26百万円
(2023年12月期)

日本
CAD/CAM
74.2%

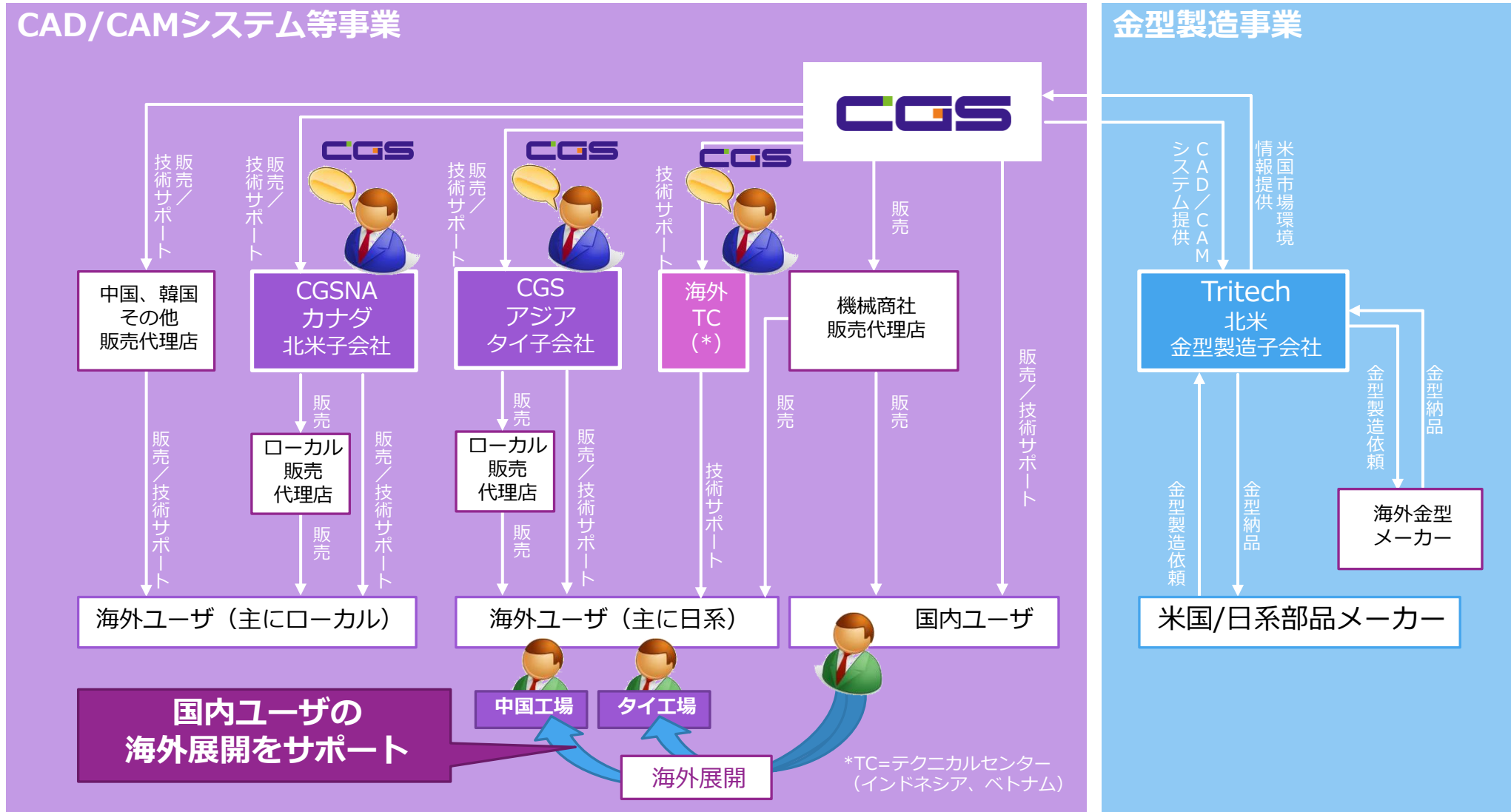
アジア
CAD/CAM
10.5%

北米その他
CAD/CAM
2.6%

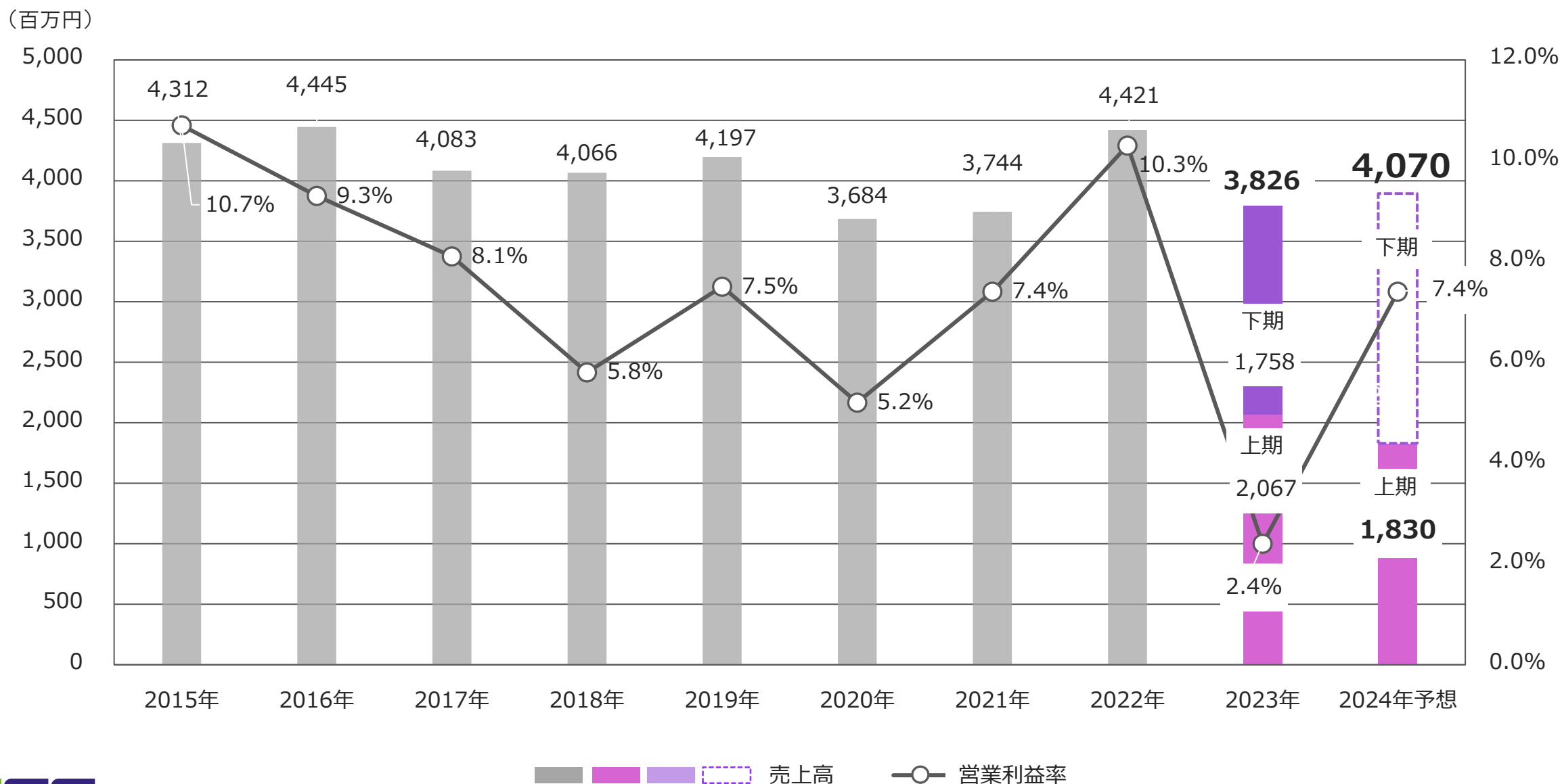
北米金型
12.7%

- 海外販売割合（仕向地別）は25.8%（2023年12月時点）
- 海外については技術代理店、事業拠点の拡充による地域完結型事業モデルを推進

事業系統図



連結業績の推移



02

2024年12月期第2四半期
(中間期) 決算概要

**CAD/CAMシステム等事業、金型製造事業共に減収減益
EVシフトの方向性が依然として不透明なことが影響**

売上高

18億30百万円

前年同期比 △11.4%

営業利益

54百万円

前年同期比 △69.1%

CAD/CAM

- ・ 国内においてはEVシフトの方向性が依然として不透明なことにより自動車向け金型・部品製造業の設備投資を抑制、製品販売が低調に推移
- ・ 海外では一部堅調な地域もあったもののタイ日系自動車関連需要が回復せず製品販売が伸び悩み
- ・ 保守売上は堅調に推移するも製品販売をカバーするまでには至らず

金型製造

- ・ 2023年下期、自動車の新機種開発・生産の延期があり受注状況が低調に推移したことから大幅な減収減益

CAD/CAMシステム等事業

- ・ 製品販売の減少による減益（※保守売上は前年同期比で増加）

金型製造事業

- ・ 売上減による減益

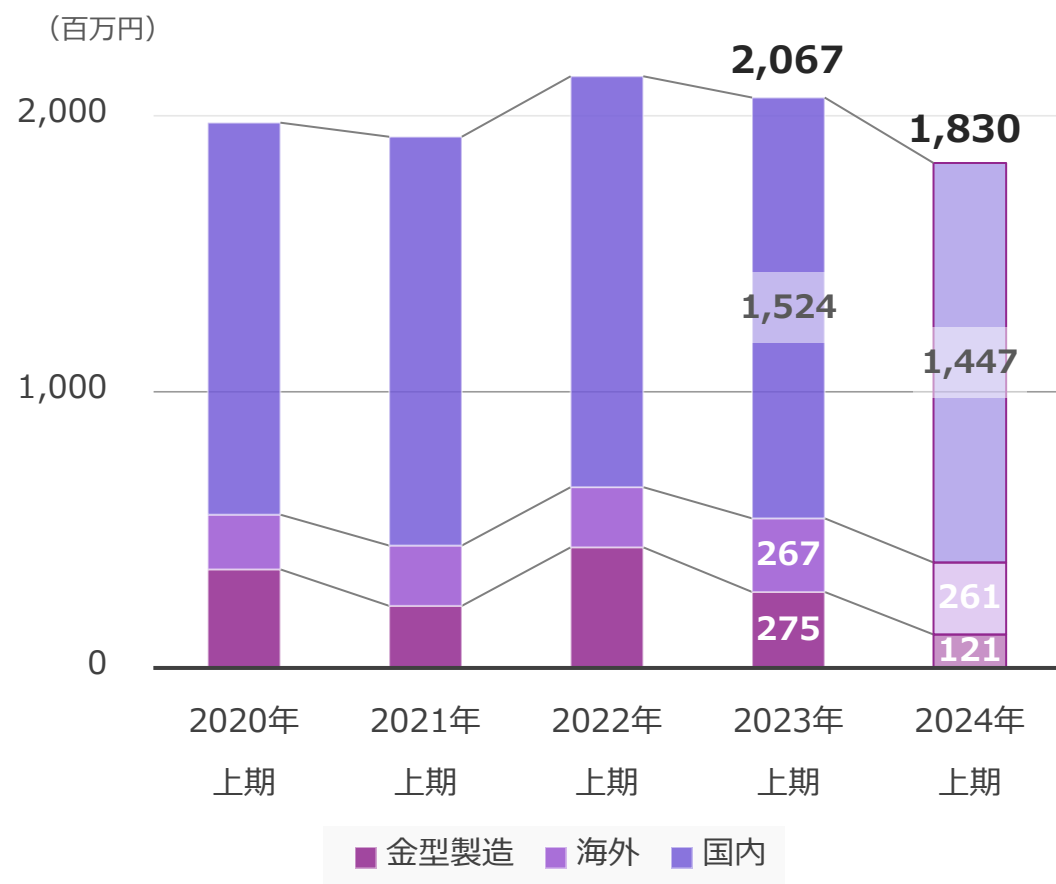
業績概要

	2024年 上期実績	売上比	2024年 上期計画	計画比	
				増減額	増減率
売上高	1,830	100.0%	1,940	△110	△5.7%
営業利益	54	3.0%	106	△51	△48.7%
経常利益	86	4.7%	126	△39	△31.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	39	2.2%	63	△23	△37.7%

		2023年 上期実績	2024年 上期実績	2024年 期末想定
為替 レート	ドル	144.99円	161.07円	145.00円
	パーツ	4.07円	4.36円	3.80円
	カナダドル	109.34円	117.42円	100.00円

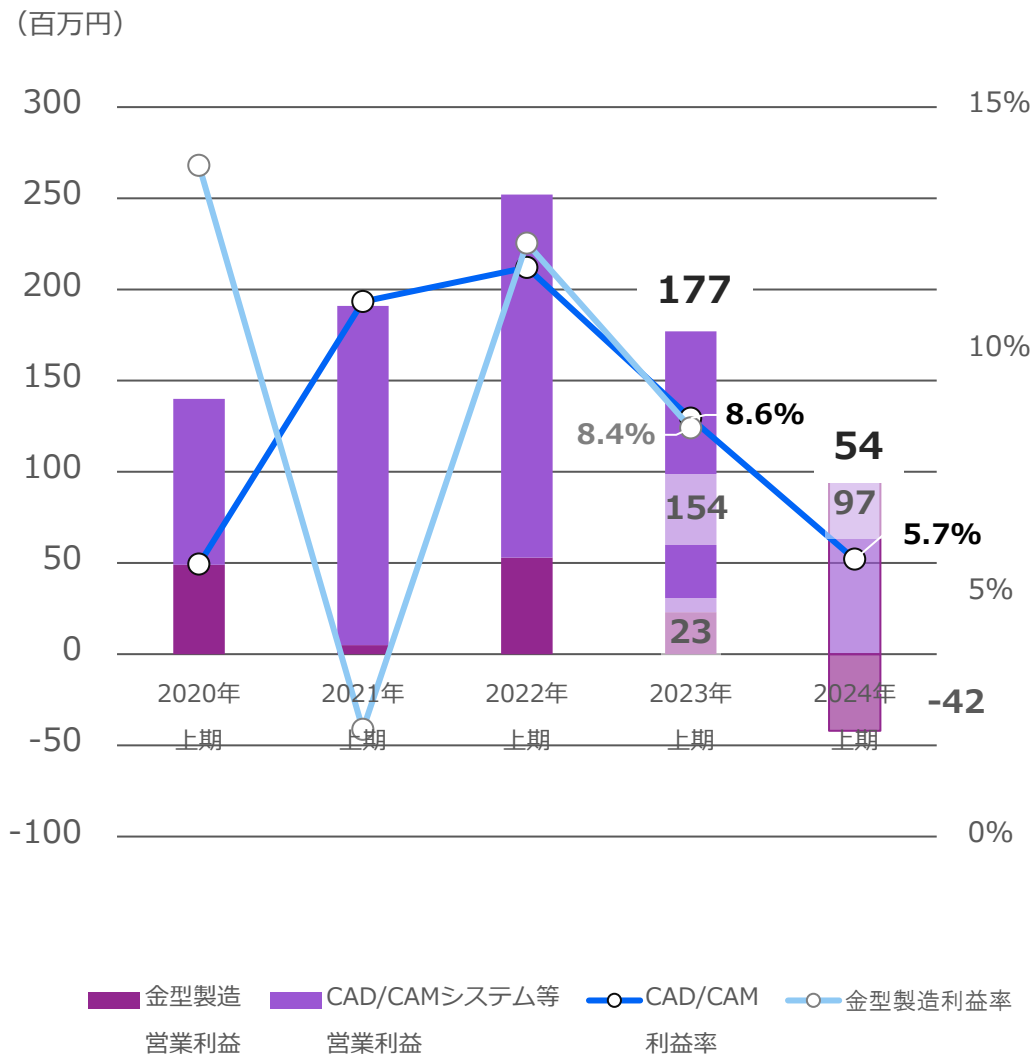
2023年 上期実績	前年同期比	
	増減額	増減率
2,067	△236	△11.4%
177	△122	△69.1%
226	△140	△62.0%
135	△95	△70.9%

事業セグメント別売上高の推移（仕向地別）



売上高 (百万円)	2023年 上期	2024年 上期	売上比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	1,791	1,709	93.4%	△81	△4.6%
国内	1,524	1,447	79.1%	△76	△5.0%
海外	267	261	14.3%	△5	△2.0%
金型製造	275	121	6.6%	△154	△56.0%
合計	2,067	1,830	100.0%	△236	△11.4%

事業セグメント別利益の推移



科目 (百万円)	2023年 上期 【実績】	2024年 上期 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	1,791	1,709	△81	△4.6%
営業利益	154	97	△57	△37.2%
営業利益率	8.6%	5.7%		
金型製造				
売上高	275	121	△154	△56.0%
営業利益	23	△42	△65	△283.2%
営業利益率	8.4%	—		
合計				
売上高	2,067	1,830	△236	△11.4%
営業利益	177	54	△122	△69.1%
営業利益率	8.6%	3.0%		

連結貸借対照表

自己資本比率52.9%

(百万円)	2023年末 実績	2024年上期 実績	増減
資産合計	5,584	5,842	+ 258
現金及び預金	2,807	2,829	+ 22
その他流動資産	738	906	+ 168
固定資産	2,038	2,105	+ 67
負債合計	2,457	2,717	+ 259
流動負債	1,076	1,321	+ 245
固定負債	1,381	1,395	+ 14
純資産	3,126	3,124	△ 1
負債・純資産合計	5,584	5,842	+ 258
自己資本比率 (%)	55.0%	52.9%	△ 2.1%

資産の部 : + 258百万円

- ・受取手形、売掛金
及び契約資産 + 45百万円
- ・電子記録債権 + 99百万円
- ・投資有価証券 + 60百万円

負債の部 : + 259百万円

- ・買掛金 + 31百万円
- ・契約負債 + 170百万円
- ・未払法人税等 + 49百万円

純資産の部 : △ 1百万円

- ・利益剰余金
+ 純利益計上 39百万円
△ 配当金支払 96百万円
- ・その他有価証券評価差額金
+ 43百万円

連結キャッシュ・フロー計算書

	2023年 上期	2024年 上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	120	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179	△107
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	39
現金及び現金同等物の増減額	△263	△33
現金及び現金同等物の期首残高	2,964	2,772
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,701	2,738
フリーキャッシュフロー	△120	34

営業CF

- 税金等調整前中間純利益86百万円
：各事業の利益貢献
- その他の主な内訳：
（増加）契約負債の増加159百万円
（減少）売上債権の増加142百万円

投資CF

- （減少）定期預金の預入による支出
65百万円

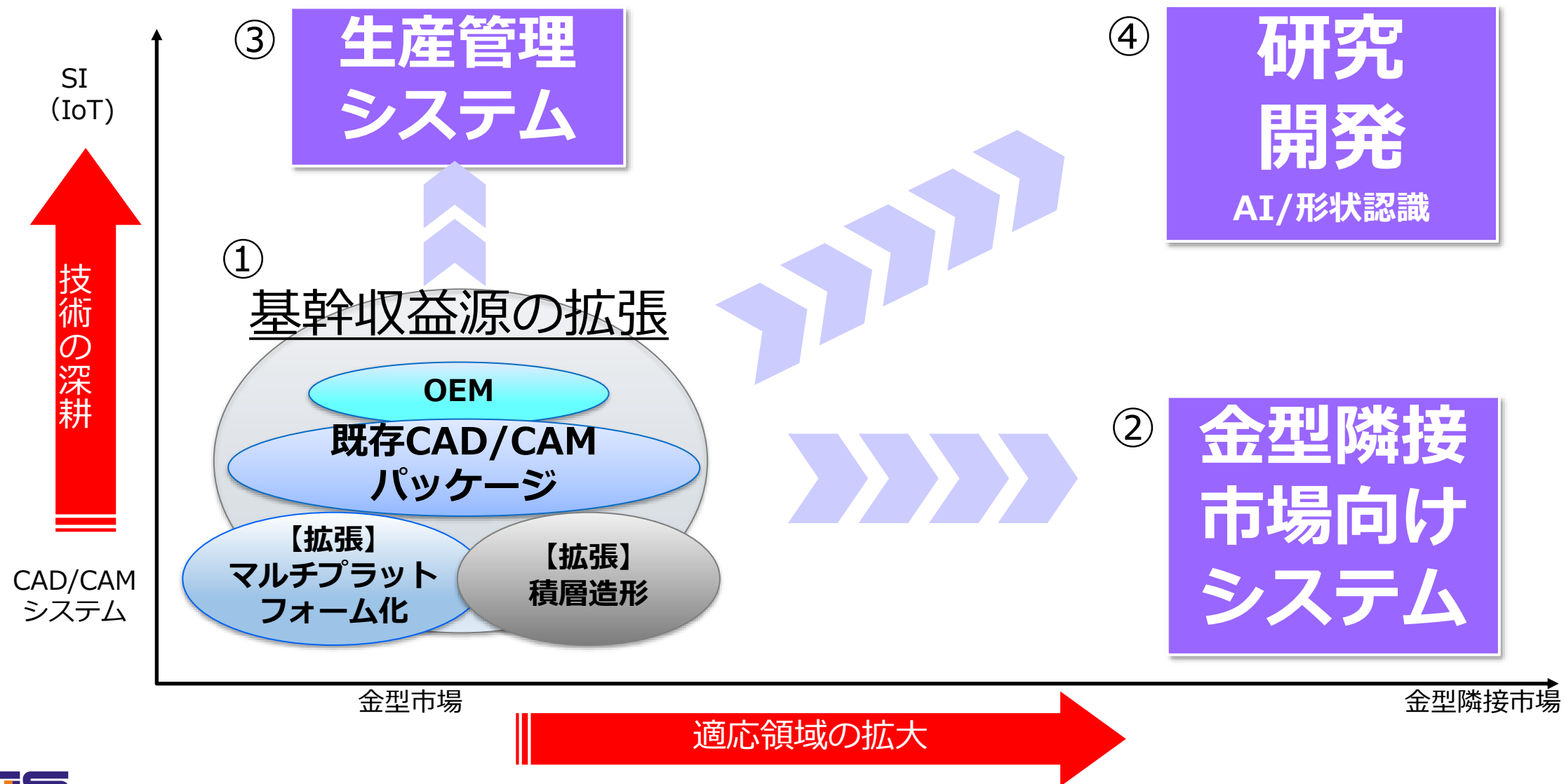
財務CF

- （減少）配当金の支払額107百万円

03

中長期事業方針

基本成長戦略の方向性



持続的成長への経営基盤を確立

保守事業による安定した収益構造の維持・拡張
継続的なバージョンアップによる保守更新率向上

高い保守更新率を維持
2023年12月実績 **95.4%**

シェア拡大

- OEM強化および同業他社、生産財メーカーへのCAD/CAMエンジンの提供
- CAMのマルチプラットフォーム化拡大
- 積層造形（金属/樹脂）分野の強化

NDES社へのOEM供給

- 2022年10月よりNDES社へのOEM供給開始
- その他の同業他社にもOEM供給を継続、新たなOEM先を引き続き開拓

国内+海外戦略強化

- 海外技術代理店の拡充（アセアン圏）
- 海外拠点の拡充
- 技術サポート/ユーザカスタマイズの地域完結型事業モデル構築

ベトナム進出

- ハノイにてベトナムテクニカルセンターを2023年2月に開設
- 並行して技術代理店を拡大し販路拡大に注力



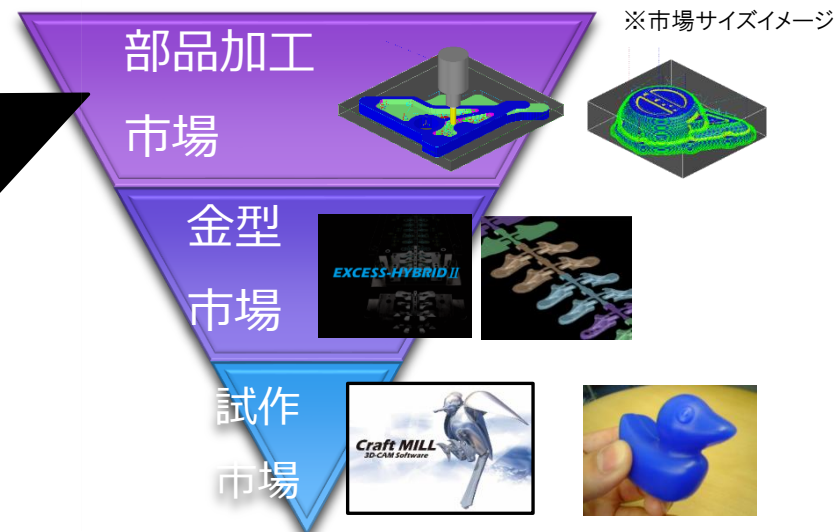
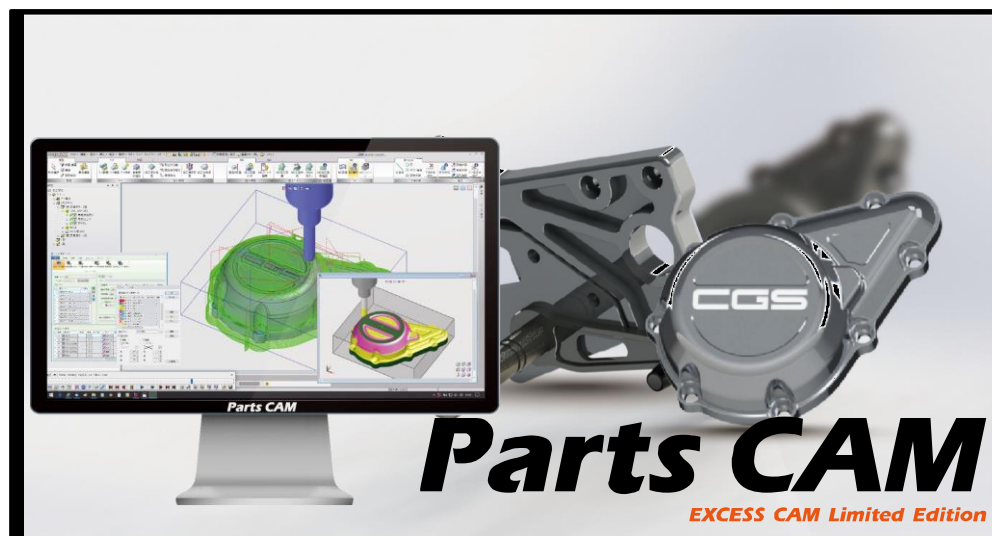
② CAD/CAM適応領域の拡大

Parts CAM

EXCESS CAM Limited Edition

～部品加工市場向け製品の展開～

- 金型加工で培った高精度なCAD/CAM資産を部品加工市場へ投入
 - ・・・ CAD/CAM事業領域の拡大⇒**部品加工市場、量産市場など新規市場開拓**



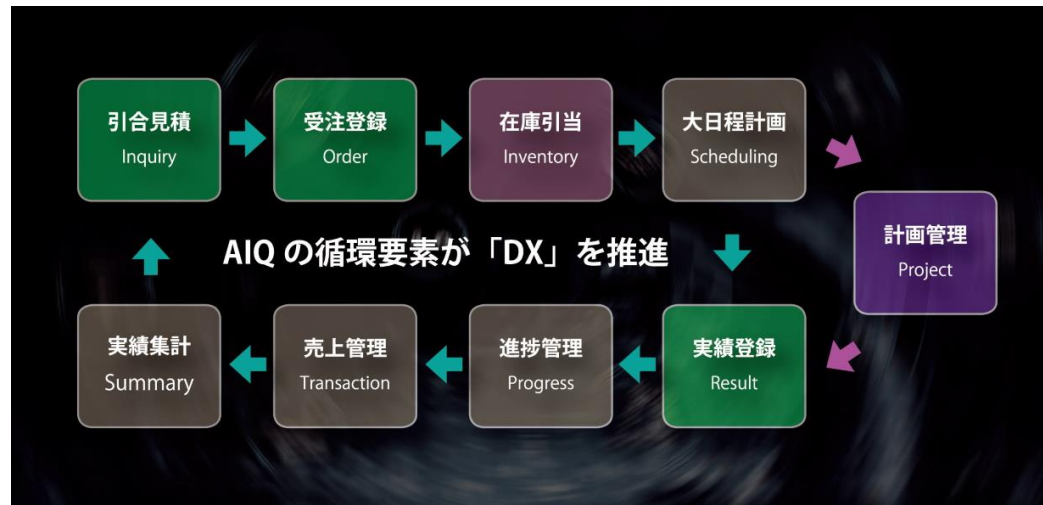
- ・ 顧客ニーズに併せた新機能の追加に向けた開発を順次推進

③技術の深耕（IoT分野への事業展開）

AIQ

～金型・部品製造業に特化した生産・工程管理システム～

■ IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型・部品製造向け生産・工程管理システム」



- バージョンV16.2で**AI類似画像検索機能**を追加、製品画像を生産実績の検索条件として指定可能に
- 製造業のDX化ニーズに対応しCAD/CAM分野とならぶ第二の収益の柱として育成

④研究開発の推進

主力製品にAI機能を搭載し順次リリース

工場稼働の高効率化

エネルギー省力化

人材不足解消

熟練工の技術伝承支援

高齢化対策

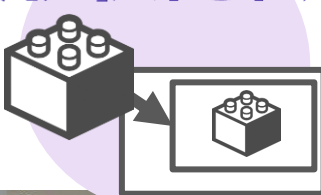
AI



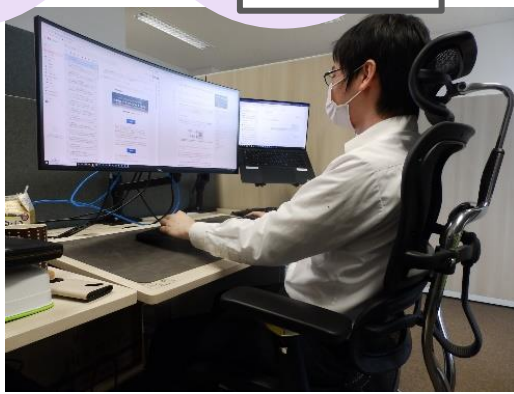
IoT



形状認識



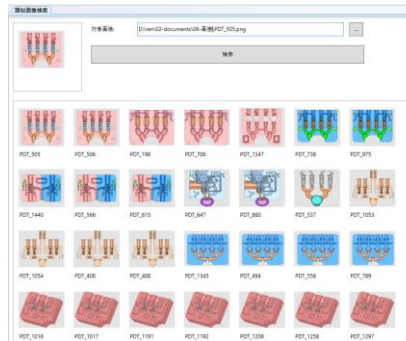
北九州学研都市 技術開発交流センター



快適な開発環境を整備し最新技術の研究を推進

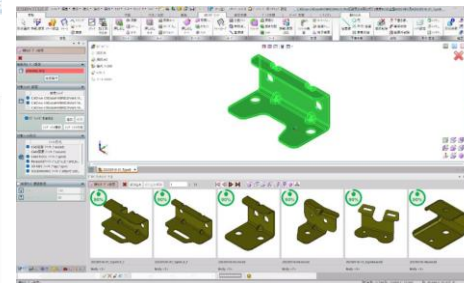
AIQ

AI類似画像検索機能
2023年12月リリース



EXCESS-HYBRID II

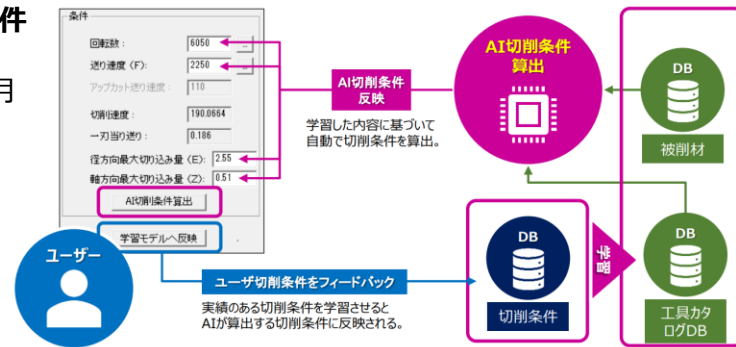
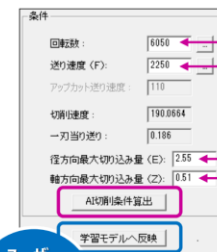
類似ボディ検索機能
2024年2月リリース



CAM-TOOL

産学連携での共同研究

AI切削条件算出機能
2024年4月
リリース

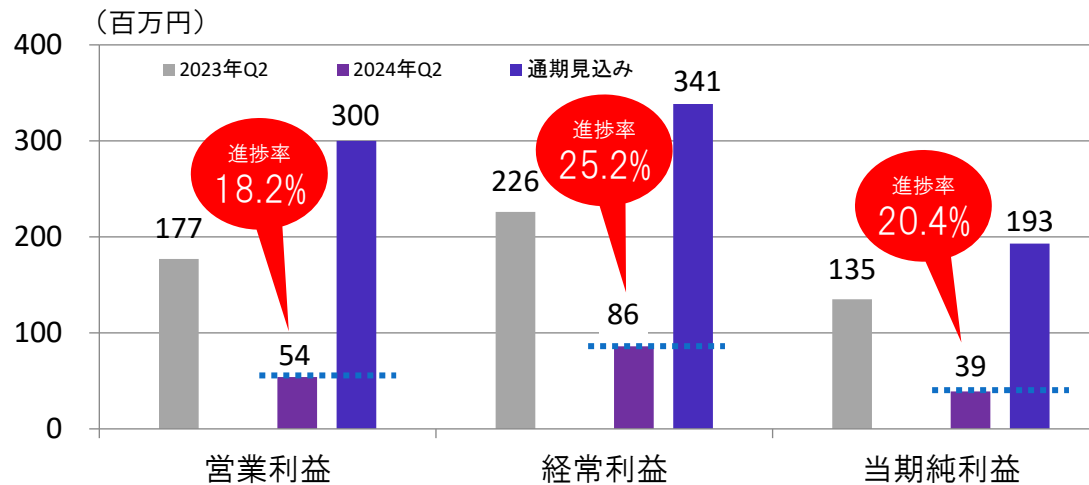
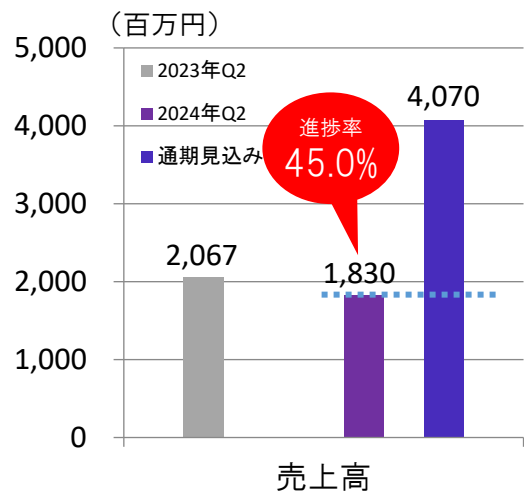


04

2024年12月期 通期業績見通し

連結通期業績予想は据え置き

(単位：百万円)	①2023年 上期実績	②2024年 上期実績	前年同期比	③2024年 通期見込み	予想に対する進捗率 (②÷③)
売上高	2,067	1,830	△236	4,070	45.0%
営業利益	177	54	△122	300	18.2%
経常利益	226	86	△140	341	25.2%
親会社株主に帰属する 中間／当期純利益	135	39	△95	193	20.4%



		2023年 期末	2024年度 連結業績予想 想定レート
為替 レート	ドル	141.83円	145.00円
	ユーロ	160.00円	160.00円
	カナダ ドル	107.24円	100.00円

2024年12月期 連結セグメント別業績予想

科目 (百万円)	2023年上期 【実績】	2024年上期 【実績】	前年同期比	2024年通期 【予想】	予想に対する 進捗率
CAD/CAMシステム等事業					
売上高	1,791	1,709	△81	3,580	47.7%
営業利益	154	97	△57	298	32.5%
営業利益率	8.6%	5.7%		8.3%	
金型製造事業					
売上高	275	121	△154	489	24.8%
営業利益	23	△42	△65	2	—
営業利益率	8.4%	—		0.6%	
合計					
売上高	2,067	1,830	△236	4,070	45.0%
営業利益	177	54	△122	300	18.2%
営業利益率	8.6%	3.0%		7.4%	

CAD/CAMシステム等事業

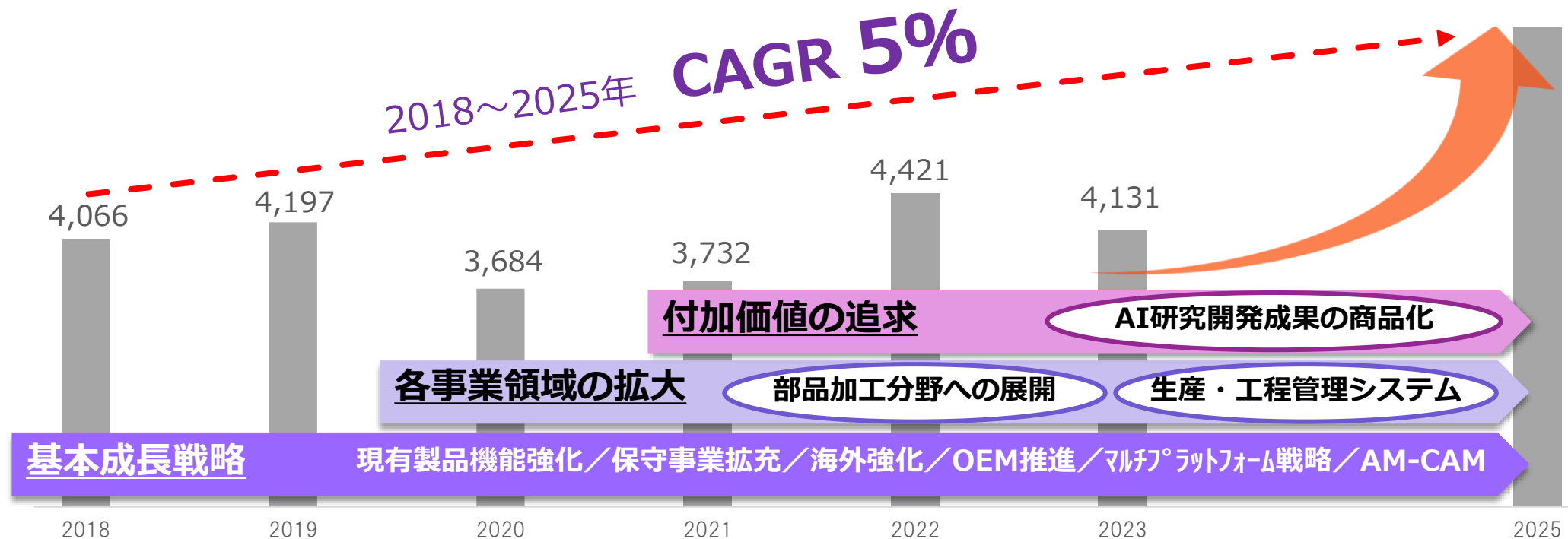
- EVシフトの動向、原材料高騰等の間接的な影響も依然として懸念されるものの、自動車関連市場の回復を背景に主力CAD/CAMシステムおよび生産・工程管理システムの需要増により緩やかな回復基調で推移する見込み

金型製造等事業

- 新機種開発の再開に伴い足元の受注環境は改善傾向。金型の需要回復が予想されることから、業績は第4四半期から2025年度上期にかけて持ち直していく見込み

今後の成長イメージ

【将来CGSが目指す姿】
金型・部品製造現場の最適化を支援する総合ソフトメーカーへ事業拡大



2018年の水準から
2025年に向けて

2018~2025年 CAGR
5%

2025年 経常利益率
20%

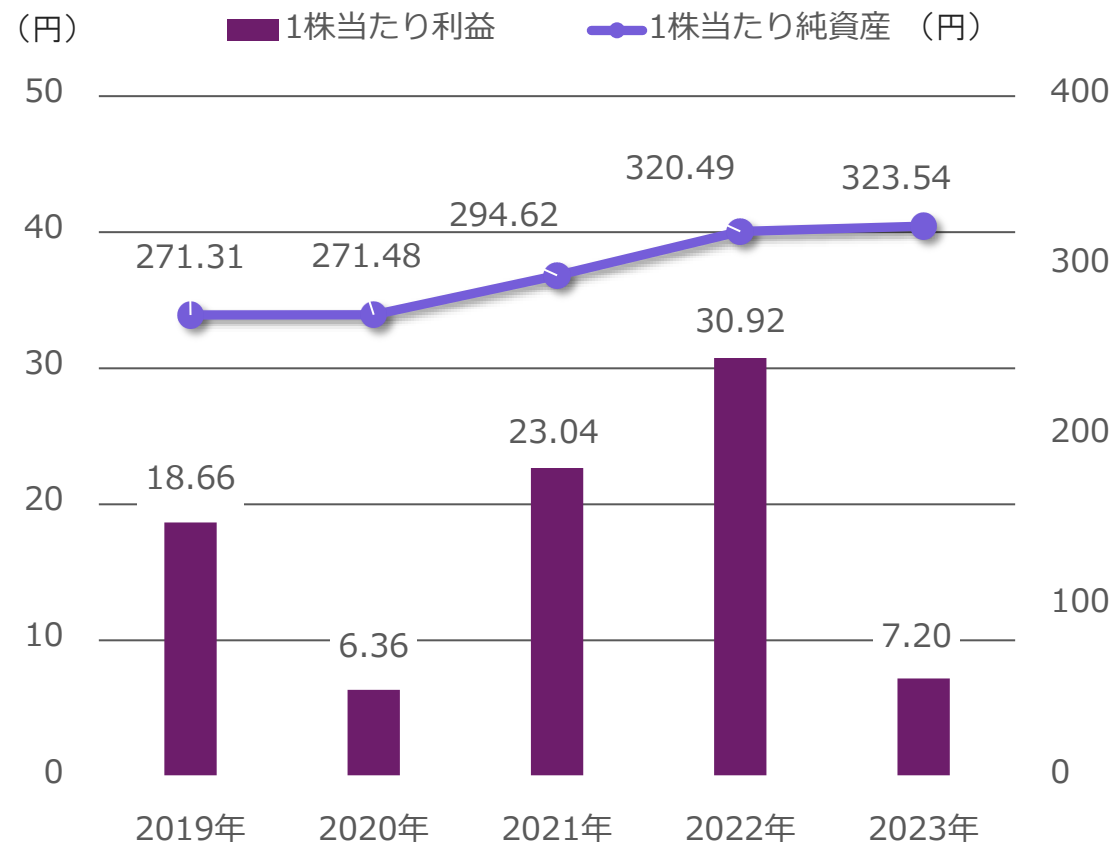
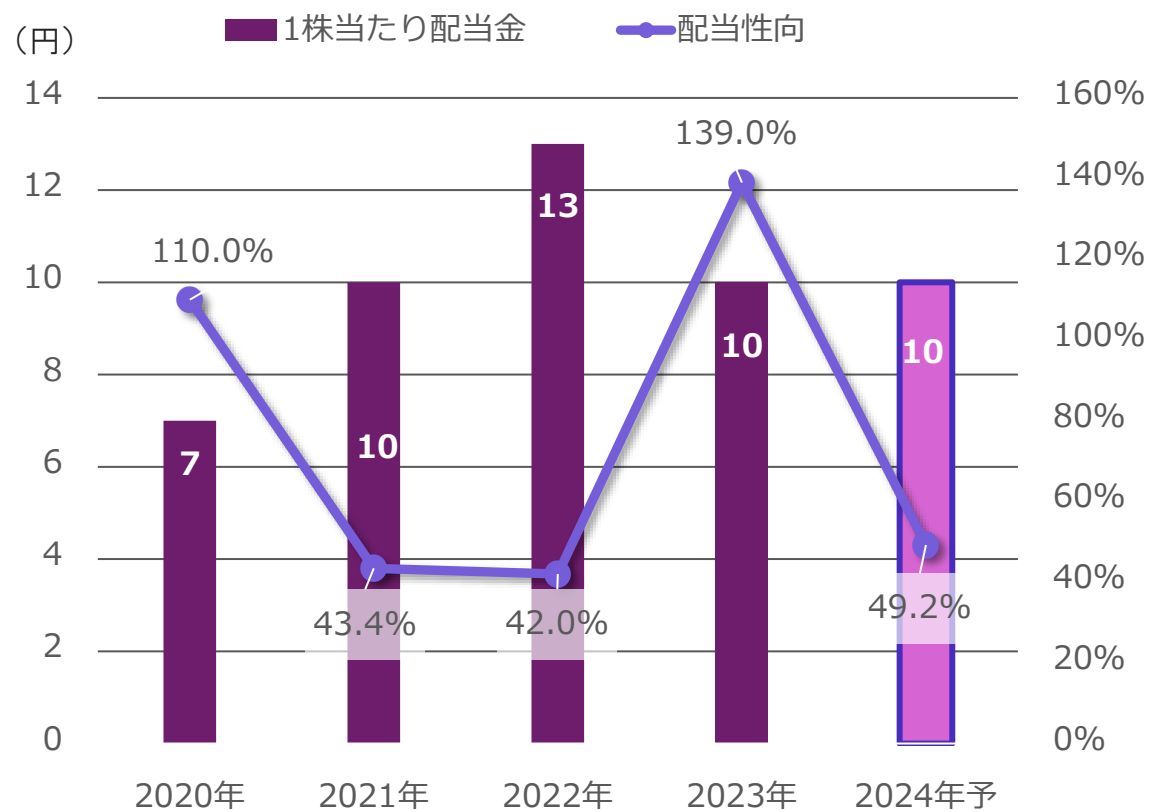
2025年 ROE
15%以上

05

株主還元について

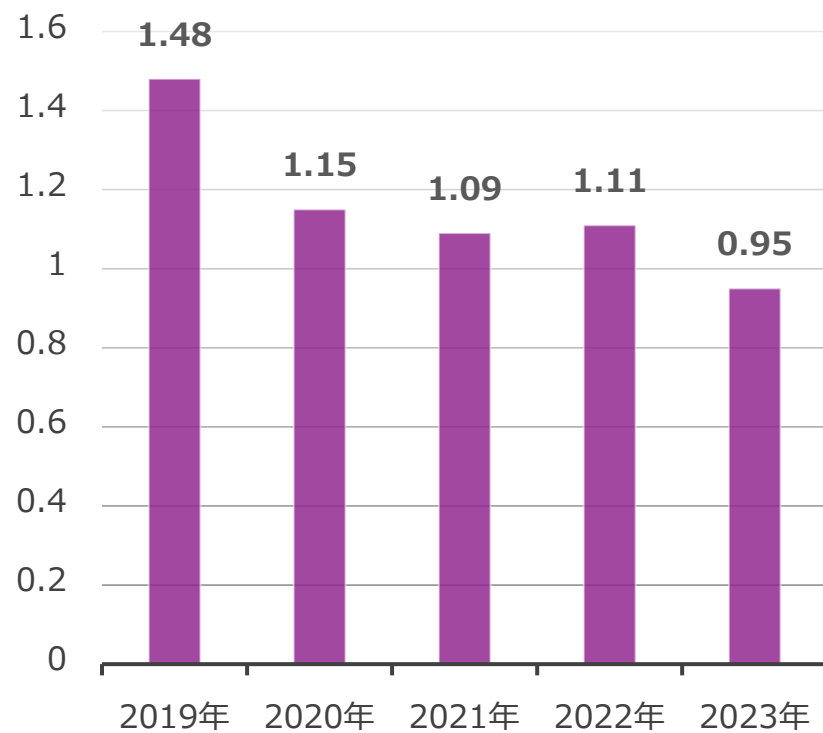
配当について

業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す



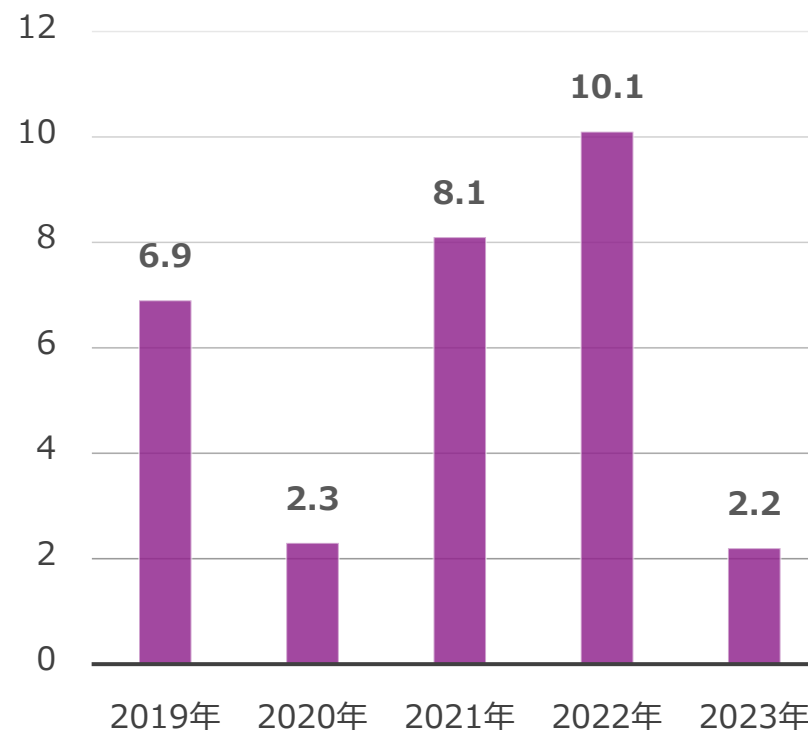
PBRは2023年の業績不振に伴い1倍未満へ
収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す

PBR (倍)



■ PBR (倍)

ROE(%)



■ ROE(%)

本資料に関する お問合せ先

株式会社C & Gシステムズ
管理部IR担当

E-mail :
cgs_ir@cgsys.co.jp

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものです。その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。